

目 次

附属図書館長に就任して
文字を介して時空を超えよう
図書館の利用について
燈火春秋⑫
ミニシリーズ(その2)
1997年外国雑誌情報
本学教官著作寄贈図書
鳥取ライオンズクラブ寄贈図書
図書館業務日誌
平成9年度図書館カレンダー(その1)

附属図書館長に就任して

—変革期の大学図書館は、いま—

甲 元 啓 介

平成9年1月1日付けで附属図書館長を拝命し、微力ながら大学の管理・運営の一端を担うことになり、先任の三枝前館長から多くの宿題をいただいた。なかでも「近未来の高度情報化社会のニーズに適切に対応できる鳥取大学図書館機能の強化・高度化」は重点課題である。

世界的にもいま、大学図書館は変革期にあると云われている。この変化を推し進めているものは単純な要因ではなく、相互に関連した複数の因子が絡みあって形成された複雑な要因であると考えられる。

その要因のひとつに、情報媒体の多様化と高機能化があげられる。つまりグーテンベルグの発明した印刷媒体に加えて、近年急速に進歩した電子化情報媒体の世界的展開・普及がある。たとえば、情報スーパーハイウェイ構想により展開されたインターネットの爆発的普及は、学術情報の流通において特に迅速な提供が要求される自然科学系大学図書館の伝統的業務を根幹的に変化させるインパクトを持っている。

「科学技術創造立国」を標榜する日本政府は、昨年7月2日に閣議決定した「科学技術基本計画」の

中で、大学内LANのATM化(高速化)整備と、あわせて大学図書館の電子図書館的機能の整備・充実を推進するとうたっている。また時を同じくして学術審議会も、「大学図書館にお

ける電子図書館的機能の充実・強化について」を建議している。このような施策の緊急性が特に強調されている理由は、大学図書館が学術研究情報の主要な生産拠点である大学の研究活動を支える基礎的施設であり、学術情報の集積機能と発信機能の双方において、それが果たすべき役割の極めて大きいためである、と明快に述べられている。

研究者、とりわけ自然科学系の研究者はプライオリティとオリジナリティを主張するため、情報の迅速な入手と発信を要求するものである。本学においても図書館の電子的機能強化の一環として、平成8年度に高機能の図書館専用電算機を導入し、平成7年度から提供されているMEDLINE(医学関連情報データベース)やERIC(教育関連情報データベース)に加えて、「Current Contents」(最新出版の学術雑



誌の目次と抄録のデータベース)の Life Sciences と Clinical Medicine の 2 編について CD-ROM サーバー/LAN システムで先導的提供サービスが始まり、鳥取・米子両地区の研究室から24時間検索が可能となっている。しかし科学の学際化、国際化の進展が急な今、これでひと安心ということにはならない。国内の多くの大学図書館が提供サービスしているように、科学の全領域をカバーする 2 次情報源としての「Current Contents」全 7 編を早急に整備・提供する必要に迫られている。このようなサービスは電子図書館機能のごく一部の働きに過ぎないが、まずは多くの研究者・学生に気軽に利用願って、研究・教育・学習におけるデジタル情報の速報性、利便性、有効性などを体験していただきたい。それが鳥取大学を情報過疎地にしないための環境造りの第一歩であると思う。その際、経費の利用者負担などというけちな発想は止めたい。そのためには、主要なデータベースへのアクセス費用は図書館で一括契約できる学内財政措置が前提条件となる。「情報」は研究者や学生が何度使用して減少することのない知的資源であり、図書館による情報提供サービスは利用されて初めて評価されるものである。大学コミュニティにおいては、教官や学生の懐具合が情報源アクセスのハードルになってはいけない。

大学と社会の関係の変化も見過ごしてできないプレッシャー要因である。言うまでもなく大学の研究成果は迅速に社会に還元されるべきであるが、今はその対象が地域社会から国際社会へと広がっている。図書館が大学と社会の接点であるとの観点に立てば、インターネット環境下の大学図書館は、研究者による情報生産、出版社による情報の流布、図書館による情報の蓄積と検索という従来型の情報流通経路の役割分担から一歩踏み込んで、その全ての過程に関わってもよいのではないと思われる。その意味で、平成 8 年度から本学医学部分館で始められた全文データベース化と WWW (World Wide Web) で発信中の YONAGO ACTA MEDICA は、この分野では全国初の先駆的出版事業である。この電子化された学術誌に対する外部からのアクセスは予想以上に高頻度である。このニュースは文部省でも高く評価

されている。21世紀は、エレクトロニック・ジャーナルを導入しえない大学図書館を持つ研究者は、研究競争の敗者とならざるを得ない、とさえ云われている。そのような最悪の事態に陥らないように心して、研究図書館機能の飛躍的向上を図らねばならないと思う。それが鳥取大学や近隣地域の科学研究者・技術者のニーズに応え、信頼される大学図書館としての重要な使命であろう。

大学図書館に変容を迫っているもうひとつの要因に、教育環境の変化があげられる。21世紀は創造の時代だと云われる。学生の創造的能力を涵養するため、これまで多くみられた講義中心のいわば受け身の教育から、自ら問題の発見とその解決にあたり、成果を発表する授業形態への移行が望まれている。学生自らが知識の宝庫を探検して、問題を発掘し、関係情報の分析と因果的関連性を求め、時には少数で討論するような場合も想定される。こうした場合、学生が新しい知識や情報を得る主要な場は大学図書館である。そこでは読書という行為に加えて、パソコンを持ち込んで情報収集や分析を行い、報告書をまとめたり、また発表のために、スライドや OHP 原図を作成する必要もあろう。学生が各種の情報伝達機器やマルチメディアを思いのままに使って議論をする場所も必要となろう。いま大学図書館は「静かに本を読む伝統的従来型機能」に加えて、「学生集団の自主的な学習活動に適切に対応できる機能」をもつ必要に迫られている。本学図書館における学習図書館機能の近代化もまた急がれる。

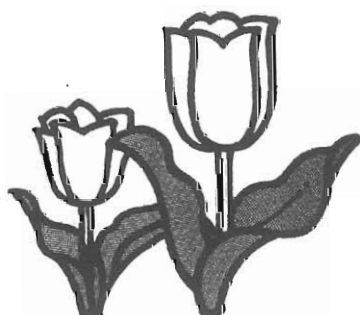
このたび図書館長着任にあたり、平成 7 年 1 月に鳥取大学新図書館構想検討委員会が学長に答申した「鳥取大学新図書館構想」を再読した。そこには、高度情報化社会における大学図書館のあるべき姿が詳細に描かれていて、本答申をまとめられた当該委員会委員の先見性と見識にあらためて深く敬服し、そのご努力に感謝申し上げる。現在、本学図書館ではその提言に基づいて新図書館建設の概算要求を軸に、機能強化を進めているところである。

その後も急速な進歩を遂げている電子図書館的機能を詳細に検討し、本学の特性を考慮した図書館の守備範囲を明確にしながら具体的整備ビジョンを策

定し、あわせて情報処理センターとの緊密な連携により、21世紀という時代のニーズに適切に応え得る、ハードとソフトの両面で高機能のインテリジェント図書館新営に向けて作業を進めたいと思う。ここは

ひとつ、全学的なご協力とご支援をお願いする次第である。

(農学部教授 植物病理学)



New OPACのお知らせ

今回の電算システムのリプレースに伴い、OPAC（オンライン利用者用目録）も次のように改善されました。

ぜひ御利用下さい。

(1) インターネットで公開（図書館のホームページ経由）

(2) 全文検索の実現

書名、件名、著者、編者、訳者、ISBN、叢書名、出版社、出版年、分類等で検索出来ます。

(3) 2階閲覧室の2台の端末からも検索出来ます。

文字を介して時空を超えよう

赤木三郎

退官を前に図書の整理をしていたところ、地質調査の際、何でも書き込むフィールドノートの中に一枚のメモが挟まっていた。子どもの頃、忙しい大掃除のさなか、畳の下の古新聞のマンガを読んでいて叱られた思い出があるが、半分懐かしさも加わってつつい読みしてみた。記憶には全くないが、稚拙な自分の手で以下のように書いてあった。

「ひとり燈火のもとに文をひろげて見ぬ世の人を友とするぞ、こよなう慰むわぎなる。徒然草」

調べてみると、徒然草十三段の有名な一節である。何でこんなものを挟んでいるのかと訝ったが、内容が気に入って挟んでいたに違いない。私の専攻は地球科学の一分野の地質学で、特に地史と古生物を研究してきた。決して立ち会うことのできない過去の事象を、谷沿いの崖や切り通しに露出する地層や岩石を観察することによって、何千万年前の自然に向き合える果報な職業を専攻したと考えている。文を広げて見ぬ世の人を友とするよろこびと何か共通するところがあると考えたのである。フィールドノートは野外調査で気のついたこと、観察した事項を何によらず、とりあえずメモするものである。文字で書くこともあるが、スケッチで残すこともある。記録された資料はもう露頭そのものでなく、持ち帰り必要に応じて机の上で状況を再現する。従って研究の第一歩と考えている。記録を媒体にして見ぬ世のことを思索することは楽しいことでもあるのだ。

「見ぬ世の人を友とする」体験として外骨との出会いについて触れよう。

できたばかりの大学生協の書棚で妙な表題の文庫本を見つけた。大きな「外骨」という活字に惹かれ、これにも職業意識がうごめき、手にとった。化石化する生物はヒトやイヌのような脊椎動物では体内に骨格があり内骨格という。一方、ウニやハマグリなどでは外側に殻があり、軟体部を保護しているので外骨格と呼ばれている。一瞬、化石の本だろうと思ったのである。赤瀬川原平の著書で、題名は「学術

小説 **外骨** という人がいた！」である。外骨だけが大きく書いてあったのだ。なんだ、勘違いかと思ったが外骨に扮装した著者の写真が出ているのが気になり、ぱらぱらと見た。化石の本ではないが面白そうなので買い求めた。これが宮武外骨という人物との出会いである。

宮武外骨は1867年（慶応3）に讃岐国（香川県）に生まれ、1955年（昭和30）に89歳で亡くなった反骨・反権力のジャーナリスト、文化風俗研究者、新聞雑誌研究家である。明治20年「頓知協会雑誌」、「スコブル」、「面白半分」など120余の雑誌、単行本を発行した。筆禍で入獄4回、4年。罰金・発禁29回に及ぶ。しかし、その頃、省みる人の無かった明治・大正の新聞雑誌などを全力で収集し、東京大学の法学部内の明治新聞雑誌文庫を創設し、主任として資料充実に努めた。所蔵目録は「東天紅」と題されて三編が出版された。

宮武外骨という名と私の勘違いのもとになった外骨格はどうやら無関係ではないらしい。彼は幼名を亀四郎と言った。カメは内骨格を持つが、甲羅で覆われているので外骨と名のつた。以来、気をつけていると、折からブームになったのか、矢継ぎ早に外骨の本が出版された。著作集全8巻も出版された。はまるという言葉があるが、文字どおりはまって乱読をした。風刺と諧謔にとむ外骨の編集した雑誌は今読んでも新鮮で奇抜な発想に啞然とする。ついて行けないところがあるのは、自分にセンスがないのと、時代が違うからであろうとあきらめている。外骨の交友関係を見ると、どの時期にも幅広く理解者があり、孤独でなかったことを知り、救われた。

斜め読みではあったが、宮武外骨を通して明治・大正の雑誌界の概要を知ることができ、全く未知で新しい世界の片鱗に触れることができた。それ以来、図書館や書店の書棚で興味の湧くものにはなんでも手を出し、自分の情報ネットワークを補充している昨今である。

この図書館報が読者の手元に届く頃には、大学に何かを求めて入った新入生でキャンパスは活気にあふれているであろう。上述の古文は大抵の人が受験対策として高校で学び、もはや忘れ去りたい気持ちの人が多いかもしい。しかし、いまいちどこの段の意味をよく考えていただきたいものである。

人間が、いつ、文字を発明したか知らないが、文字による記録の蓄積が今日の文明を支えたものと考えられる。大学の教育と研究には学問の性格によって、新しいものを追求し、新しい情報がより価値あるものとして取り上げられ、古い文献は反古に等しいと考える分野もあるらしいが、時代を越え、地域と言語の違いを越えて先人の仕事が尊重される分野もある。生物学や古生物学では新種の命名に先取権を認められている。その分野では世界の動向を調べ、文献による記載の前歴を調べることが必須である。大学の附属図書館は文献が欲しいときにはできる限り手を尽くして探してくれるし、相談にも乗ってもらえる。基本的な図書はまず完備しているはずであ

るから、大学生で図書館を利用しない手はない。図書館はまさに宝の山である。特に近年はキャンパス内は情報ネットワーク(学内LAN)で、学外は学術情報システムでつながっているのだから、半ばであきらめないうで癡猛に図書館を利用すればきっと得るところも多いはずである。

図書館は情報社会の窓口で、データベース作りの出発点といえよう。インターネットの時代とはいえ、まだまだ非電子化の情報が山ほどある。図書館で生の資料を入手し、一人一人が自分で自分の情報ネットワークを構築することが必要であろう。同じことをしてきた先達のあることを知り、今、どこかに自分と同じことに興味をもつ人のあることを知る場所とするのもよかろう。

外骨のような意外な人と出会える図書館はときに、私にとって快い遊びの場である。人に迷惑をかけず、心の中で時空を超えて思索できる図書館を大切にしよう。

(元附属図書館長 理科教育)



図書館の利用について

1. 新入生のみなさんへ

入学おめでとうございます。

みなさんが爽やかな大学生活を送られるために、積極的に図書館を利用することをお勧めします。

ここに図書館の利用について主なことをご案内しますが、詳しくは「図書館利用案内1997」をご覧ください。

(1) 開館時間

平日	9時～20時 春季, 夏季, 冬季休業日は, 9時～17時
土曜日	10時～16時30分 春季, 夏季, 冬季休業日は, 閉館
日曜日 及び休日	10時～16時30分 定期試験期間のみ開館

(2) 休館日

日曜日（定期試験期間は除く）

国民の祝日に関する法律に規定する休日（定期試験期間は除く）

本学の記念日（6月1日）

年未年始（12月28日～翌年1月4日）

春季, 夏季, 冬季休業日の土曜日

その他、臨時に休館するときは掲示等でお知らせします。

(3) 入退館

原則として荷物の持込みは自由ですが、一般常識として図書館ではいけないこと（飲食・大声での雑談など）について、お互いに気を付けましょう。

又、図書等資料を汚損・紛失すると弁償してもらわなければなりませんので、そのようなことのないよう大切に扱って下さい

(4) 図書館利用者カード

① 交付

手続は不要です。学生証に図書館利用者 IDNoが併記されています。学生証の受取が同時に図書館利用者カードの受取となります。

② 注意すべきこと

図書館利用者カードを又貸ししないで下さい。

このカードのことで時々トラブルが発生しています。

借りている図書を紛失した場合、電算機の貸出記録に記憶された利用者カードの持主が責任を負わねばなりません。

これは、人に利用者カードを貸したり、人から借りたりした結果のトラブルがほとんどです。友人に迷惑を掛けないよう、お互いに気を付けましょう。

そのような事故防止のためにも、利用者カード（学生証）をきちんと管理して下さい。もしも紛失した場合は、速やかに図書館カウンター（学生証については学部の学生係）まで届け出て下さい。

(5) 貸出・返却

貸出：学部学生の図書の貸出冊数は5冊まで、大学院生は10冊まで。貸出期間はどちらも14日間です。

返却：期限内にカウンターまで持参して下さい。閉館後ならば図書館玄関脇のブックポストに投函して下さい。

(6) 更新・罰則

更新：1回だけ貸出期間を延長出来ます。

カウンターで申し出て下さい。

ただし、返却期限をオーバーした場合は更新出来ません。

罰則：返却期限をオーバーして図書を返却した場合は、ペナルティとしてオーバーした日数分貸出停止になります。

(7) 閲覧

開架閲覧室にある図書・雑誌は、自由に手に取って見ることが出来ます。

一部、郷土資料・AV資料等は資料室等で保管していますので利用許可が必要です。1階カウンターで申し出て下さい。

図書館内で利用した図書・雑誌等資料は元の場所に戻して下さい。

2. 教職員・研究生等のみなさんへ

（新入学の学部学生・大学院生以外の利用者）

(1) 図書館利用者カード

図書館1階カウンターで交付について申し出て下さい。

利用者カード交付申請書に所定の事項を記入し、提出していただければ利用者カードを発行します。

取扱いの時間は平日の9時～正午、13時～17時です。この時間帯以外は取扱いませんので気を付けて下さい。

(2) 貸出・返却

貸出：①教職員・名誉教授の図書貸出冊数は15冊まで、期間は30日間です。

②研究生・聴講生等は学生に準じた取扱いとなります。図書貸出冊数は5冊まで、期間は14日間です。

返却：学生と同様です。

3. レファレンス

その他、貸出・コピー（文献複写）・資料の配置等、図書館の利用について、質問がありましたら、気軽に1階カウンターでお尋ね下さい。

4. ご意見・図書等の購入希望

2階ホールに投書箱「図書館の窓」と「購入希望図書記入用紙」を設けていますので、ご意見やご要望をどしどしお寄せ下さい。

図書館をより一層充実させるために、利用者の方のみなさんの声をお待ちしています。

燈火春秋⑫

記録を補完する風景

—司馬遼太郎「空海の風景」—

伊 藤 恵

(1)

作家司馬遼太郎は、独自の叙事的叙情の文体で、これまでにない魅力的な歴史小説を、次々に発表してきた。

或いは戦国時代の、或いは江戸幕末という激動期の様々なヒーローを活写した。

が、中には異なるスタイルのものもあった。

特に目を引くものに「空海の風景」がある。

(2)

空海。号は遍照金剛。弘法大師とあがめられ、お大師さんと今日の人々に親しまれている。

この、常人とは思えぬ逸話や伝説を各地に残した一人の天才について、作家はどのように迫ろうとしたのであろうか。

(3)

ところで、その人を正しく理解するとはどういうことか。生前も死後も、人の評価はほとんど盲人の象を評する如しである。何を正とし、何を誤とするか。誤解もまた、理解の一形態である。

そして、人は常に誰かと比較しつつ、その人を評価する。或いは宗教も、その人格も。

空海には最澄。

(4)

作家は「いまさらあらためていうようだが、この稿は小説である。」とわざわざことわっているが、そのように、いわゆる小説らしからぬ進め方のまま、空海の死まで辿りついてしまう。

空海の心を理解するために、作家は空海と同一化しようとして、資料による知識、想像力など、全エネルギーを燃やして感情移入をはかろうとした。

(5)

空海はおおよそ一千年前の人である。当然のことながら資料は乏しい。そこで、作家は歩いた。ゆかりの地、讃岐、奈良、京、摂津、そして遠くは中国までも歴訪した。

そこに広がる天と地と、伽藍と読経と、自然と人と、…。言うまでもないことだが、歴史に限らず、文章や記録で不明な点は、現地を見ること。その場所に身を置くとたちどころにわかることがある。誤解を恐れずに言えば、風景は総てを補完する。

(6)

膨大な資料に目を通してきたであろう作家の目が輝き始める。

が、仮定と想像を出ない低徊。思いつつ、まどいしつつ、作家は筆を進めねばならなかった。

スタイルは自然、そのようになった。思考の螺旋は曖昧なまま周辺を低徊するかに見せて、不意に中心(核心)に踊り込んだりする。揺れ幅が大きい。殊に、空海、この巨大な宇宙に向かう志は、さらに。

(7)

「空海の風景」は、作家積年のテーマであった。

作家は、資料と風景の発酵と熟成を待った。一人の人物が次第に成長するように。待ち、且つ進めた一考察である。紀行であり、散文詩であり、ドラマである。苦しみつつ進む文章は、しかし、したたかな風貌を見せている。

(8)

宗教そのものもまた、風景と切り離しては考えられない。宗教はカオスに発し、様々な伝説に彩られ、宇宙からの声を待つ思弁の花である。

そして、密教は呪力である、という。最終目的は即身成仏である、という。宇宙の氣息と同一化する、と。

918.68 空海の風景

Shi (司馬遼太郎全集 第39巻)

文芸春秋 1983年

(資料サービス係長)

ミニシリーズ・情報検索コーナーより その2

使ってください、CD-ROM版 雑誌記事索引

昭和23年に「雑誌記事索引」人文・社会編が発行され、平成8年度からは従来の冊子体からCD-ROMへと刊行スタイルをかえました。小半世紀も続いている索引誌ですが、その価値を知る人は意外に少ないようです。

国立国会図書館は、日本で唯一納本制度をとっている図書館で、国内の刊行物は必ず一定部数この図書館に納められます。図書館で仕事をするものにとって国立国会図書館が最後の拠り所とされる所以もそこにあります。

その国会図書館に納められた学術雑誌をさらに選択し、記載されている論文の書誌事項（論題・著者名・掲載誌名・巻号・発行年月・頁）を、巻末に著者索引をつけて主題別にリスト化したのが冊子体の「雑誌記事索引」なのです。

1996年6月現在、採択収録誌数は5,500といわれています。

人文・社会編とは別に、1950年より科学技術編も刊行され始めました。学問のほぼ全領域を対象にした索引誌というのは国内では他に類をみませんし、特に、人文・社会科学分野においては希少な文献検索ツールとして確固たる地位を保っています。CD-ROM版はこの2編を合わせて刊行されています。

鳥取大学附属図書館ではこのCD-ROM版を購入し、1985年以降の収録データをLAN経由にて提供しています。

CD-ROM版「雑誌記事索引」の検索方法は、メニュー検索とコマンド検索の2種類ありますが、今回はメニュー検索について説明しましょう。

1 基本

次頁のメニュー検索画面のとおり〔論題中の単語〕から〔請求記号〕までの8つの検索項目があり、項目間の演算はその次段の「AND」もしくは「OR」のいずれかを選択して決定します。そしてまた、各検索項目に入力された単語間をAND（論

理積）とするならば「*」を、OR（論理和）とするならば「+」を使います。

〔ISSN〕〔ISBN〕〔請求記号〕の3項目は完全一致検索しか行いませんが、その他の検索項目においては、入力語の末尾に「/（スラッシュ）」を付けない限りは前方一致検索を行います。入力語は、漢字（全角）、ヨミ（全角・半角）のいずれでもかまいません。

メニュー画面下方の「刊行年月」や「雑誌巻号」は、検索結果を絞り込む際に用います。

それでは実際に検索を行いながら、各機能の説明をしましょう。

II 検索の実際

【例題1：子供の教育を受ける権利について】

お気づきのように、この「雑誌記事索引」においては、内容からアクセスするには論題中にある言葉を手がかりにするしかありません。ですから、類語・関連語の類を広く論理和の形で集めることが必要となってきます。

1. 〔論題中の単語〕項目に、論題中にあると思われる内容を表わす言葉を入れてゆく。

①教育権

②学習権

③教育権+学習権

④教育権+学習権+（教育+学習）*権利

前述のように入力語は前方一致検索されるため、「教育権」は「教育」で、「学習権」は「学習」で拾われてきます。よって最終的な検索式は次のようになります。

⑤（（教育+学習）*権利）*コドモ

「コドモ」としたのは、「こども」「子ども」「子供」いずれであっても、ヨミは同一だからです。

2. 件数を絞り込む。

上記検索を、'90-'94のCD-ROMを選択して行った結果、128件ありました。今の場合、件数を少なくするには、出版年で限定するのがいいで

しょう。[刊行年月]項目に「1992」をいれま
すと、37件と少なくなりました。

ちなみに、'85-'89, '90-'94, '95-のデータ累積
期間を持つ3枚のCD-ROMを交換するには、初
期のメニュー検索画面でF4:CD交換キーを押
して選択して下さい。

3. 詳細表示させる。

検索条件に合致したデータが一覧表示されま
すので、見たいデータにカーソルを合わせリタ
ーンキーを押しますと、左側に「*」が付きま
す。

この状態でF8キーを押せば、該当データの
詳細表示を見ることが出来ます。

4. 再検索

これは非常に便利な機能です。

詳細表示されたデータ中の語(著者名・論
題の切り出し語)にカーソルをあわせてリタ
ーンキーを押した後、F10:再検索キーを押せば、そ
の語を持つ論文を一覧表示します。

詳細表示画面で目に止まった著者が他にど
のような論題で発表しているか知ることは、自分
が見落としていたキーワードを拾い集めるのに
大変参考になります。

複数語入力して再
検索する場合、語と
語の関係は論理積と
なります。

【例題2:鈴木潤氏の論
文を求む】

[著者名]項目に、姓
名続けて入力します。

①「スズキジュン」
を入力。

鈴木淳・鈴木淳
子など、ヨミで前
方一致したものが
掛かってきます。

②「鈴木潤」を入力。
鈴木潤一、鈴木
潤三など、やはり

前方一致したものが掛かってきます。

③ノイズは不要なので、完全一致検索を行うた
めに、「鈴木潤/」と入力します。

【例題3:地球温暖化についての論文】

ズバリ「地球温暖化」を[論題中の単語]項目に
入れました。247件という多い回答となりました。

検索結果に洩れが生ずるのをおそれるならば、こ
の前方一致検索の結果の247件全部をプリントアウト
するしかないのですが、洩れが生じてもいいからもう
少し内容的に絞り込みたい時に利用するのがLOO-
KUP機能です。

「地球温暖化」と入力したところで、F3:用語一覧
キーを押しますと、「地球温暖化」から始まる収録単
語の一覧が、収録されたデータ件数と共に表示され
ます。探している内容により近い単語にカーソルを
あわせてリターンキーを押せば、左側に「+」がつ
いて、その語は[論題中の単語]項目に入ります。
後は、F10:検索キーで検索実行となります。

複数の単語を選択したときは、単語間は論理和の
関係となります。

**	雑誌記事索引	メニュー検索画面	**	CD-ROM(1993)版				
論題中の単語	[]					
	[]					
論 題 名	[]					
	[]					
著 者 名	[]					
	[]					
分 類 コ ー ド	[]					
雑 誌 名	[]					
	[]					
I S S N	[]	I S B N	[]	請 求 記 号	[]
検索内容:項目間 [AND/OR] 単語間 [AND(*)/OR(+)]								
刊行年月 [年 月~ 年 月] 雑誌巻号 [巻 号~ 巻 号]								
F1:初期選択 F2:入力消去 F3:用語一覧 F4:CD交換 F6:印刷								
F7:ダウンロード F8:一覧表示 F9:HELP F10:検索								

1997年外国雑誌情報

[新規購読雑誌]

雑誌名	国名	所属
Advances on Information Storage Systems.	アメリカ	工一応用数理
Africa:Journal of International Institute of African Languages and Cultures.	イギリス	教一茨木
American Journal of Psychiatry.	アメリカ	本一中村
Blake.	アメリカ	教一和田
Bulletin of Council for Research in Music Education.	アメリカ	教一小川
Cahiers d'Etudes Africaines.	オランダ	教一茨木
Cahiers des Sciences Humanes.	フランス	教一茨木
Catalysis Letters.	スイス	工一物質
Cognitive Development.	アメリカ	教一寺川
Courier(UNESCO).	フランス	教一ケイツ
Economic Development and Cultural Change.	アメリカ	農一永木
Economic History Review.	イギリス	教一武田元
EEG Journal.	オランダ	教一広重
European Review of Agricultural Economics.	ドイツ	農一永木
Evolutionary Computation.	アメリカ	工一知能情報
Genetic Epistemologist.	アメリカ	教一高取
Geschichte und Gesellschaft.	ドイツ	教一武田元
Guardian Weekly.	イギリス	教一Macarthur
Historische Zeitschrift.	ドイツ	教一武田元
International Journal of Middle East Studies.	アメリカ	教一武田元
Journal des Africanistes.	フランス	教一茨木
Journal of African History.	イギリス	教一茨木
Journal of American Academy of Child & Adolescent Psychiatry.	アメリカ	本一中村
Journal of Clinical Investigation.	アメリカ	農一家畜内科
Journal of Family and Consumer Sciences.	アメリカ	教一鳥井
Journal of General Microbiology.	イギリス	農一家畜微生
Journal of General Virology.	イギリス	農一獣医公衆
Journal of Research in Music Education.	アメリカ	教一小川
Journal of Sleep Research.	イギリス	教一広重
Keats-Shelley Journal.	アメリカ	教一和田
Kunst und Unterricht.	ドイツ	教一高浦
Middle Eastern Studies.	イギリス	教一武田元
Mind, Culture and Activity.	アメリカ	教一高取
Music Perception.	アメリカ	教一小川
Psychophysiology.	アメリカ	教一広重
Scholastic Choices.	アメリカ	教一鳥井
Scottish Literary Journal.	イギリス	教一Macarthur
SLEEP.	アメリカ	教一広重
Soil Technology.	オランダ	乾一井上
Studies in Art Education.	アメリカ	教一高浦
Transaction of the ASAE. Irrigation Engineering Special Edition.	アメリカ	乾一矢野
UPDATE : the Applications of Research in Music Education.	アメリカ	教一小川
Visual Arts Research.	アメリカ	教一寺川
Vocational Education Journal.	アメリカ	教一鳥井
Young Children.	アメリカ	教一寺川

[中止雑誌]

雑誌名	国名	所属
Accident Analysis & Prevention.	アメリカ	工—社会開発
American Journal of Psychotherapy.	アメリカ	保—中村
ATZ : Automobiltechnische Zeitschrift.	ドイツ	工—機械工学
Australian Geographer.	オーストラリア	教—市南
Beitrage fur Forstwirtschaft und Landschaftsokologie.	オランダ	農—宮田
Bijdragen tot de Taal- Land en Volkenkunde.	オランダ	教—茨木
Biochimica et Biophysica Acta. Gene Structure and Expression.	オランダ	図書館
Biochimica et Biophysica Acta. Molecular Cell Research.	オランダ	図書館
Botanical Review.	アメリカ	乾—竹内
Bulletin de la Societe Theophile Gautirer.	フランス	教—門田
Europe.	フランス	教—門田
Geo Journal.	ドイツ	教—市南
IEEE Transactions of Systems, Man and Cybernetics.	アメリカ	工—社会開発
Industry Week.	アメリカ	工—電気電子
Interfaces.	アメリカ	工—社会開発
International Journal of Heat and Mass Transfer.	イギリス	工—機械工学
Journal of American Psychoanalytic Association.	アメリカ	保—中村
Journal of Clinical Psychology.	アメリカ	教—寺川
Journal of Computer and System Sciences.	アメリカ	図書館
Journal of Consulting and Clinical Psychology.	アメリカ	保—中村
Journal of Experimental Psychology. : General.	アメリカ	教—広重
Journal of Experimental Psychology. : Human Perception. . .	アメリカ	教—広重
Journal of Experimental Psychology. : Larning, . . .	アメリカ	教—広重
Journal of Sound and Vibration.	イギリス	工—機械工学
Journal of Special Education.	アメリカ	教—寺川
Journal of Transportation Economics and Policy.	イギリス	工—社会開発
Magazine Litteraire.	フランス	教—門田
Management Science.	アメリカ	工—社会開発
Mental Retardation.	アメリカ	教—寺川
Modern Fiction Studies.	アメリカ	教—岩上
Mother Jones.	アメリカ	教—Macarthur
North and South.	N. Z	教—サージャン
Nouvelle Revue Francaise(NRF)	フランス	教—門田
Perception & Psychophysics.	アメリカ	教—広重
Perception.	イギリス	教—広重
Photosynthetica.	オランダ	乾—竹内
Physics of Plasmas.	アメリカ	工—応用数理
Practical English Teaching.	イギリス	教—ケイツ
Problems of Desert Development.	アメリカ	乾—竹内
Proceedings of the Royal Society of London. Series A:	イギリス	図書館
Psychological Research.	ドイツ	教—寺川
Psychonomics Bulletin & Review.	アメリカ	教—広重
Quarterly Journal of Experimental Psychology. A.	イギリス	教—広重
Seventeenth Century.	イギリス	教—吉村
Spatial Vision.	オランダ	教—広重
Stochastic Hydrology & Hydraulics.	アメリカ	工—社会開発
Telos.	アメリカ	教—国歳
Times Educational Supplement.	イギリス	教—Macarthur
Times Higher Educationl Supplement.	イギリス	教—Macarthur
Traffic Engineering + Control.	イギリス	工—社会開発
Transportation Planning & Technology.	イギリス	工—社会開発
Transportation Science.	アメリカ	工—社会開発
Transportation.	オランダ	工—社会開発
Veterinary Radiology & Ultrasound.	アメリカ	農—家畜内科

本学教官著作寄贈図書

(平成8年1月～12月受入分)

この度は次のように寄贈していただきました。ありがとうございました。本学教官著作寄贈図書コーナーに配架し、利用に供しています。

(著者名のABC順。所属等は平成8年4月1日現在)

頭文字	寄贈者名・所属等	書名	発行所名・発行年	備考
IS	石飛 和幸 (保健管理センター)	学生と健康	南江堂 1996年5月	執筆
IT	伊東 正一 (農学部)	世界のコメ統計 (食料振興会叢書45)	全国食料振興会 1996年5月	編集・解説
KA	門田真知子 (教育学部)	女のタオイスム	人文書院 1996年5月	訳者
KA	笠原 浩三 (農学部)	農業構造政策	農林統計協会 1991年6月	執筆
KA	〃	農業と農政の経済分析	大明堂 1996年6月	執筆
KO	甲元 啓介 (農学部)	Pathogenesis and Host Specificity in Plant Diseases. I-III.	Pergamon 1995	編者
MA	松尾 葦江 (元教育学部)	軍記物語論究	若草書房 1996年6月	著者
MO	森下 喜一 (教育学部)	東北地方アクセントの研究	おうふう 1996年2月	著者
OK	岡村 俊明 (教育学部)	シェイクスピアの新語、新語 義の研究	溪水社 1996年2月	著者
TA	田結庄順子 (元教育学部)	戦後家庭科教育実践研究	梓出版社 1996年2月	編著
TA	武田 修志 (教育学部)	ヘッセからの手紙	毎日新聞社 1995年12月	共訳
TA	田和 俊輔 (元教養部)	EU 統合と英澳刑事訴訟法	大阪経済法科大学出版部 1996年6月	著者

鳥取ライオンズクラブから 図書の寄贈を受けました

平成7年度に引き続き、鳥取ライオンズクラブから図書の寄贈を受けました。この資料は、留学生のみなさんの学習を援助するために寄贈されたものです。2階の日本紹介コーナーに配架していますので、是非ご利用下さい。次頁のリストは書名のABC順です。

鳥取ライオンズクラブ寄贈図書リスト (平成⁸9年度分)

編 著 者	書 名	発行所・発行年	冊数
Fisher, Helen E.	愛はなぜ終るのか：結婚・不倫・離婚の自然史	草思社 1993	1
Darnell, James E.	分子細胞生物学 上, 下 第2版	東京化学同人 1993	2
	できる Windows95 ネットワーク	インプレス 1996	1
倉林俊雄	液体の微粒化技術	アイピーシー 1995	1
日本放送協会	現代人の意識構造 第3版	日本放送協会 1991	1
犬石嘉雄	半導体物性 1, 2 (基礎物理学シリーズ 8, 9)	朝倉書店 1977	2
西尾実	岩波国語辞典 第5版	岩波書店 1994	1
福田基一	環境工学概論 補訂版	培風館 1991	1
福島瑞穂	結婚と家族	岩波書店 1992	1
小川智哉	結晶評価技術ハンドブック	朝倉書店 1993	1
堀越弘毅	酵素：科学と工学	講談社 1992	1
藤田英時	これなら使える Excel 95	ナツメ社 1996	1
Twerski, Abraham J.	まにあうよ, いまからでも：スヌーピーと仲間たちはこうしている	講談社 1996	1
増田芳雄	生物英語ハンドブック：研究者・学生のための実例と要点	培風館 1980	1
海野肇	生物化学工学	講談社 1992	1
Campbell, R. C.	生物系のための統計学入門 第2版	培風館 1976	1
戸田不二緒	生物工学基礎	講談社 1988	1
Matthews Martin S.	そこが知りたい Windows95	ソフトバンク 1996	1
李徳印	太極拳基礎講座	ベースボール・マガジン社 1987	1
	TOEIC 受験対策問題集	ジャパントイムズ 1993	1
合 計			22

図書館業務日誌 (平成8年度)

5/22(水)	蔵書計画専門委員会	10/14(月)	建物新営専門委員会
7/9(火)	図書館委員会	12/6(金)	図書館講演会
7/12(金)	蔵書計画専門委員会	12/13(金)	自己評価委員会
7/24(水) 7/26(金)	目録システム地域講習会	1/10(金)	蔵書計画専門委員会
7/9(火)	自己評価委員会	3/11(火)	図書館委員会
9/25(水)	蔵書計画専門委員会		

平成9年度図書館カレンダー(その1)

曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
日	春季休業日 ～4/8		1 ●鳥取大学 記念日		7/11～8/31 夏季休業日		(開館時間)
月			2			1	□ 9:00～20:00
火	1		3	1		2	□ 10:00～16:30
水	2		4	2		3	□ 9:00～17:00
木	3	1	5	3		4	
金	4	2	6	4	1	5	
土	5 ●	3 ●憲法記念日	7	5	2 ●	6	
日	6 ●	4 ●休日	8 ●	6 ●	3 ●	7 ●	
月	7	5 ●こどもの日	9	7	4	8	
火	8 入学式	6	10	8	5	9	■ 図書整理日
水	9 前期開講	7	11	9	6	10	(一般閲覧室・ ブラウジング コーナーのみ開室)
木	10	8	12	10 夏季休業日 ～8/31	7	11	
金	11	9	13	11	8	12	
土	12	10	14	12 ●	9 ●	13	● 休館日
日	13 ●	11 ●	15 ●	13 ●	10 ●	14	休日開館
月	14	12	16	14	11 ●	15	休日開館 敬老の日
火	15	13	17	15	12 ●	16	前期定期試験開始
水	16	14	18	16	13 ●	17	
木	17	15	19	17	14 ●	18	
金	18	16	20	18	15 ●	19	
土	19	17	21	19 ●	16 ●	20	
日	20 ●	18 ●	22 ●	20 ●海の日	17 ●	21	休日開館
月	21	19	23	21 ●振替休日	18	22	
火	22	20	24	22	19	23	休日開館 秋分の日
水	23	21	25	23	20	24	
木	24	22	26	24	21	25	
金	25	23	27	25	22	26	
土	26	24	28	26 ●	23 ●	27	
日	27 ●	25 ●	29 ●	27 ●	24 ●	28	休日開館
月	28	26	30 図書整理日	28	25	29	
火	29 ●みどりの日	27		29	26	30	
水	30 図書整理日	28		30	27		
木		29		31 図書整理日	28		
金		30 図書整理日			29 図書整理日		
土		31			30 ●		
日					31 ●		
月							

鳥取大学附属図書館報 第89号 (1997年4月発行)

編集・発行：鳥取大学附属図書館 〒680 鳥取市湖山町南4丁目101 ☎0857-31-6728

ホームページアドレス <http://www.lib.tottori-u.ac.jp>